

10/14

農業就職・転職LIVE

セミナー スケジュール



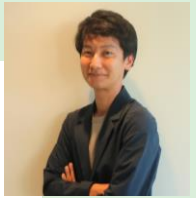
10:30~10:55

農業初心者講座

～わたらしい就農スタイルを見つけよう！～

現在の農業事情を踏まえながら、就農スタイル、就農の方法まで分かりやすく解説いたします。

株式会社マイナビ 地域活性CSV事業部 農業活性営業部 総合企画営業課 課長
伊藤慎吾



2015年株式会社マイナビ中途入社。

長年人材領域において、採用コンサルタント業務に従事し、北海道～首都圏まで全国1000社を超える採用支援に携わる。

2023年より農業分野にて、農家向け情報発信や新規就農者向けイベントの運営などを行うとともに、第一次産業の担い手を増やすべく、第一次産業に特化したインターンシップ情報サイト「マイナビ農業インターンシップ」などを運営。

11:35~12:00

まずは体験してみよう！農業インターンシップ

農業インターンシップは農業に興味のある方が農業法人等で行う短期就業体験です。

公益財団法人日本農業法人協会 経営支援課 課長補佐
名取芙海



長野県諏訪郡富士見町出身。大学農学部卒業後、新卒で豆腐製造の食品会社に就職し、豆腐工場の生産管理業務に従事。2004年に日本農業法人協会に転職。協会では農業インターンシップ事業をはじめ、就農に役立つ資格修得を支援する職業訓練事業や会員農業法人で働く従業員の人材育成事業、外国人技能実習生の監理団体業務等、農業分野で働く「人」に関わる業務を幅広く担当。

12:40~13:05

あなたらしく就農する為に知っていて欲しいこと

農業女子だからこそ伝えたい新規就農者が陥りやすい問題を解決する方法

暮らしFITプロジェクト主宰／新海ファーム副代表
新海智子



農家の夫との結婚を機に都市部からレタス生産量日本1の長野県川上村へ。減農薬で葉物野菜を栽培するも、自発的ではなく始まった農業で苦労した自身の経験から全国の農業女性へのエンパワーメントを目的とした暮らしFITプロジェクトを主宰。現在は新しい農業の形を探求するチャレンジの一環として、産学連携で地域を巻き込んだ講演、講座を開講。どんな環境でも自分で幸せを生み出す農業女子を目指すべく、様々な角度からのアプローチを実践。それぞれの目標に向かって、自ら頑張る人材育成に寄与しながら、自身のQOLの向上も大切にしているコーチであり、二児の母

13:45~14:10

「生産者」で終わらない「経営者」としての農業

弊社の取組と今後の農業界の動向や可能性についてお話しできればと思います。

アグベル株式会社 代表取締役
丸山桂佑



1992年山梨市生まれ。立命館大学卒業後、リクルートへ就職。2017年父親の病気を機に山梨へUターンし家業である家族経営規模のぶどう農家を継承。翌年から市場や既存流通に全く頼らない独自の販売、輸出を行い2020年日本の果樹産業をアップデートすべく「アグベル株式会社」を創業。

3年でぶどう生産量、取り扱い量共に日本トップシェアまで成長させ、産地形成や独自のサプライチェーンの創造やDX化された栽培管理などを行い、産業の新たなインフラを目指している。

2023年輸出に取り組む優良事業者として最高位である農林水産大臣賞を受賞。

14:50~15:15

農業×クリエイティブ

～農業の新しいカタチ～

広告デザインという異業種から参入したからこそ見える、今後の農業に必要な不可欠なものとは。

アオニサイファーム 代表／株式会社ファストユニオン 代表取締役
／合同会社ワニナルプロジェクト 代表 青木真矢



京都芸術大学卒業後、18年間広告デザインの世界で過ごし、40歳にして異業種から新規就農。

京都のブルーベリー観光農園の立ち上げから携わったノウハウを活かし、ブルーベリーの日本三大産地である茨城県つくば市にてブルーベリー観光農園や通年営業のカフェを併設するアオニサイファームを立ち上げ、今年6月にグランドオープン。

行政や企業と連携を取りながらつくば市をはじめとした地域社会への貢献活動と、デザイナーとしての経験・スキルを活かした新しい農業のカタチづくりを追求し続け、その一環として講演活動やイベント運営等を行っている。

15:55~16:20

就農前マインドセットが就農後にもたらしたコト

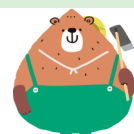
独立就農24年。幾多の困難を乗り越えられたのは就農前マインドセットのおかげ。

株式会社宮城フラワーパートナーズ 代表取締役
今野高



6歳で農業者になる事を決意。以後、『どんな農業経営スタイルにするか？』『なぜ農業をするのか？』の自問自答を繰り返しながら人生を過ごしてきた。大学卒業後、9年間宮城県農業改良普及員として野菜の産地育成・後継者育成に従事。32歳で独立就農。それまで野菜での独立就農を目指していたが、独立時には、経験・知識が乏しい花壇苗で独立。

開業当初から、『100%市場外流通』『全国ホームセンターとの直接取引』にこだわった流通を行う。現在、活用している農地は100%借地。2012年他県・他産業の仲間の出資を請けて(株)宮城フラワーパートナーズ設立。



新・農業人フェア